

へき地医療は現場から学んだ 地域における家庭医教育

(社)地域医療振興協会 (JADECOM)
地域医療研究所 地域医療研修センター

福士元春

fukushi@pop12.odn.ne.jp

JADECOM

自治医科大学 へき地医療のための卒前教育

1990 自治医大入学

- ◆「総合医」「全人的医療」にひかれて入学

1996 自治医大卒業

- ◆ 臓器別専門医偏重の臨床・教育
- ◆ 医療の中での「総合医」の位置づけに対する失望
- ◆ へき地医療に対するネガティブな感情
- ◆ 将来に対する漠然とした不安

青森県立中央病院 へき地医療のための初期研修

1996 初期研修(ローテート)開始

- ◆ 内科(10か月):総合・内分泌・循環器・消化器・血液
- ◆ 外科(7か月):一般・脳神経・呼吸器
- ◆ 小児科(4か月)
- ◆ 麻酔科(2か月)
- ◆ 救命センター

1998 初期研修修了

- ◆ 専門診療科でのローテート研修プログラムを消化
- ◆ へき地ではある程度対応できるだろう
- ◆ 将来、へき地でも診療が続けられる小児科に興味

3年目で尾駁診療所へ赴任

毎日疑問?の嵐

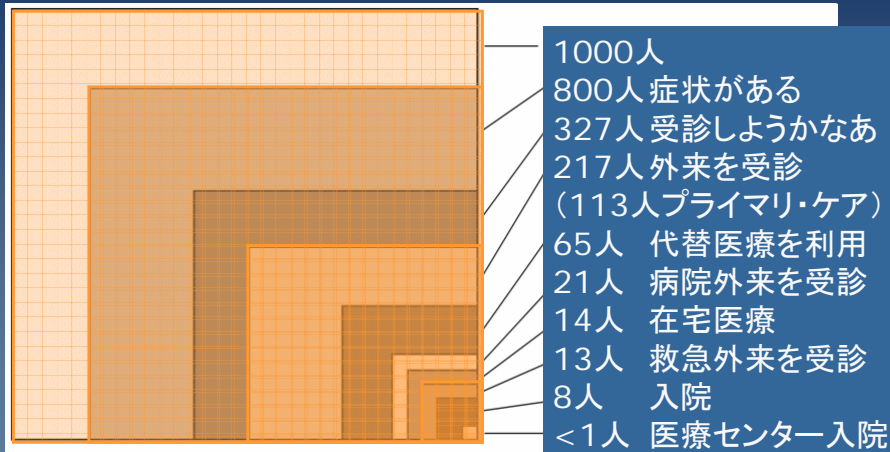
- ◆ かぜ・慢性咳嗽・めまい・腰痛?
- ◆ 高血圧の初期評価?
- ◆ 糖尿病の慢性管理?
- ◆ 内視鏡検査?
- ◆ 訪問診療?施設回診?



- ◆ 地域の患者ニーズに応えられなかった
- ◆ これまでいったい何を研修してきたのだろうか?
- ◆ なぜ頻度の高い健康問題について研修できなかったのか?
- ◆ へき地診療所でどんな研修が必要なのか?

JADECOM

The ecology of medical care revisited



地域には幅広いニーズがある！

(Green LA et al. 2001)

JADECOM

家庭医療を知る

◆ 診療所の指導医に手渡された雑誌

葛西龍樹. 必見・総合診療のリーダーたち: 家庭医療学をめざして. JIM 9(4), 1999

- ◆ 家庭医療学の専門性の存在を知る
- ◆ 家庭医療は世界のスタンダード、日本ではいまだ研修制度も確立されていない
- ◆ 今の診療の拠り所になるのでは？
→ 家庭医に会いに行ってみよう

JADECOM

家庭医療の診療・教育現場 世界の家庭医との出会い

- ◆ 北海道家庭医療学センター
- ◆ 35th Medical Group
Misawa Air Base Hospital
- ◆ 揖斐郡北西部地域医療センター
- ◆ OHSU, Department of
Family Medicine
– JADECOM exchange program
- ◆ 湯沢診療所(新潟)、坂内村・藤橋村・春日村診療所(岐阜)、あだち内科クリニック(名古屋)、伊豆大島北部診療所、佐藤病院(伊東)、川村病院(四日市)、木村クリニック(八戸)、作手村国保診療所(愛知)、北部東京家庭医療学センター
- ◆ WONCA International Classification Committee
- ◆ 家庭医療研究会(現 日本家庭医療学会)

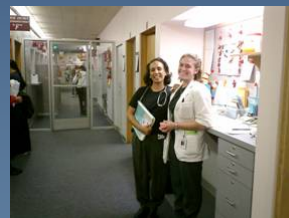


JADECOM

OHSU・地域での家庭医教育現場



Family Health Center

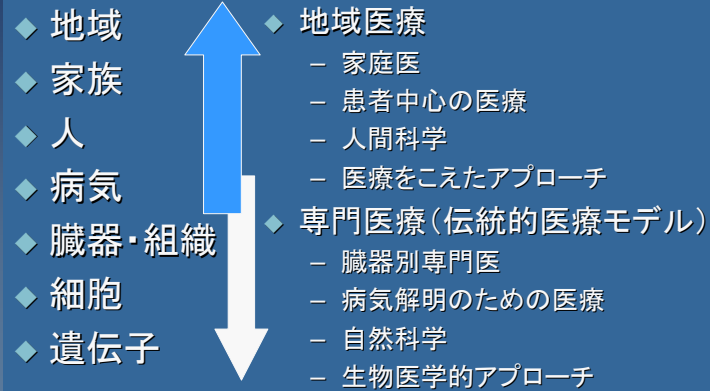


家庭医療はこれまでの研修では接したことがない視点だった。それは、どこの家庭医に話してもほとんど同じ、思いを共有できた。

→ 自分の目指す医師像に近い？

JADECOM

地域医療のダイナミズム



JADECOM

印象に残っている言葉

- 「地域のフィールドそのものが教育機能をもっている」
- 「現実が理論・制度より先を行っている」
- 「卒後教育ではすでに遅すぎる」

- ◆ 地域の現場での取り組みが重要
- ◆ 現場には「教師」がたくさんいる
- ◆ 実践を教育的視点からとらえなおす bottom-up approachが必要
- ◆ 卒前から卒後へ教育の継続性が必要

JADECOM

へき地の現場に戻り、向き合うために

- ◆ 日常の問題解決ツール
 - EBM
 - TV会議システム
 - メーリングリスト
- ◆ 地域住民・医療従事者へのアプローチ：
青森地域医療研究会
 - 認知症の啓発活動
 - 行動科学研修会
 - 循環器診療研究会
 - 健康教室
 - 多職種勉強会
- ◆ 地域医療実習プログラム



JADECOM

へき地の現場から学んだこと

- 地理的理由によるアクセス障害
- 逃げられない状況のなかで苦悩の日々
- 「自分がやりたい」研修・業務ではなく「自分がやらなければならない」研修・業務が優先
- ◆ 目の前の患者さんや住民・地域から求められることに、真剣に向き合うことの大切さを実感
- ◆ 「義務年限」という優れた教育システムに育てられた
- ◆ 多くの仲間が必要 → 教育は必須！



JADECOM

(社)地域医療振興協会 地域医療研修センターの目標

- ◆ へき地・離島で活躍できる医師を育成します。
- ◆ Evidence-based medicineの手法にのっとり、臨床上の問題を解決できる医師を育成します。
- ◆ 診察室・病棟に限らない、地域のフィールドで活躍できる医師を育成します。
- ◆ 臨床現場での活動を基盤とした教育・研究ができる医師を育成します。

これらにより、地域医療の向上を目指します。



JADECOM

次世代の日本の医療のために 義務に代わる新たな教育システム

- ◆ へき地医療の研修プログラムとしてさらに進化
 - 地域医療専門医の評価システム構築
 - 指導医養成
 - 「バーチャル研修センター」(仮)
- ◆ シニア修了後のキャリアパスを示していく
 - モデル地域・サイト
 - 自治医大卒業生との連携
 - 教育
 - 「伊東リサーチセンター」(仮)
- ◆ 医師のライフサイクルを考慮したへき地医療
 - 再研修プログラム: 再研修事業+地域医療研修センター
 - 人が集まる付加価値(hunting license)
 - 組織を越えたネットワーク構築
- ◆ 社会のために、医師として今、何をすべきか？

JADECOM